

## 編 集 後 記

今年の夏は見事に予報を裏切って、昨年に続く猛暑でした。暑さの中、採集に出かけても夏枯れの様相を呈しているように感じたのは気のせいでしょうか。

振り返ってみると10月になってもミンミンゼミが鳴いていたり、テングチョウの大乱舞によく出くわしたり……と、虫達も2年続きの暑さのせいでバイオリズムが狂ってしまったのではないかと考えられます。気象学の世界では、気温の平均値が平年と1℃違うと大変な異常だそうです。

会員の皆さんも採集旅行や日常生活の中で、昆虫たちの発生の遅れや異常発生、毎年見られる虫がいない、生態面で普段と違うなど、どんな些細なことでも結構ですから、気のついたことを編集担当まで御一報下さい。

恐らくあまり経験しないであろう2年続きの猛暑が、虫達の世界にどんな影響があったかは残念ながら検証する術もありませんが、どんな現象があったかを記録しておくまたとない機会と思えます。昆虫に限らず、動植物全般に範囲を広げて、御報告をお待ちしております。

さて、紙面を一新して2号目となりました。激励のお便りやお言葉を数多く頂き、ひとまずほっとしております。さらに努力を重ね、より充実した会誌づくりをめざします。少しでも多くの方の原稿を掲載したいと思いますので、どしどし御投稿下さい。

今回は1996年5月発行となります。原稿の締切は3月31日です。よろしくお願いたします。

なお、高橋寿郎氏より大作の原稿をお預りしており、ほぼ校正も終わりました。兵庫県産甲虫の研究には欠かすことのできないものであり、特別号として年末には刊行したいと考えております。御期待いただくとともに会費納入についてもよろしくお願いたします。

(編集担当：近藤伸一・高島昭)

き べ り は む し 第23巻 第2号

1995年 11月 25日 発行

発行：兵庫昆虫同好会

〒652 神戸市兵庫区氷室町1丁目44 高橋寿郎方

振替 01170-3-26646

編集：近藤伸一・高島昭

原稿送付先 〒671-22 姫路市書写2542-2 高島昭宛

印刷：岩峰社